

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	職員全員が意識統一して、ご入居者の思いや意向を把握できていない。	職員全員がご入居者の思いや意向を把握し、ケアを統一する。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の言葉、表情、行動から思いや意向を把握する。 月1回のミーティングで話し合い、ケアの統一を図る。 	6ヶ月
2	5	危険を予測して施錠やベッド柵の使用を行なっているが長時間に及ぶ時がある。	入居者の状況を把握し、最低限の施錠やベッド柵の使用を意識する。	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の状況を観察し、危険の伴う時のみ対応する。 入居者の状況を考慮しながら、施錠しない時間を定める。 	6ヶ月
3	27	日々の記録に気づいたことやケアの実践等の記述が少ない。	日々の記録記入時に気づいたことや介護計画の実践状況を中心に記録する。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の記録は本人の状態を中心に記録する。 認知症状の変化については処置欄に記入し、職員がすぐに変化を把握できるようにする。 	6ヶ月
4	35	災害時の対応について訓練は行なっているがいざという時不安がある。	職員全員が災害時に冷静かつ迅速に対応できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な訓練の実施（地震、火災等、訓練内容を変更し対応する） 災害時の事を再度話し合いを行う。 	6ヶ月
5	34	急変や事故時に冷静に対応できるか、不安がある。	急変時や緊急時に迅速に対応できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> マニュアルに目を通し、急変時や事故時の対応について再度、確認するよう努める。 急変や事故が起こった後にどのように対応し、その対応で良いのか、話し合いを行い、次に活かせるようにする。 	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。